



6月1日(木)

発行所
荘内日報社

本社 / 〒997-0035
鶴岡市馬場町8-29
電話0235(22)1480(代表)

酒田支社 / 〒998-0045
高田市二番町6-2
電話0234(22)4244(代表)

©荘内日報社 2017

本社代表	TEL(0235) 22-1480
購読のお申し込み	TEL(0235) 22-1481
広告のお申し込み	TEL(0235) 22-1479 FAX(0235) 22-2633
印刷のお申し込み	TEL(0235) 22-1724
編集のお問い合わせ	TEL(0235) 22-1482 FAX(0235) 22-1427
ホームページ	http://www.shonai-nippo.co.jp/

160年越しの嫁入り

庄内町・清河神社にお蓮生家の梅移植

清河神社にお蓮の梅を移植する(左から)正木宮司、菅原さん、矢口代表



夫の清河八郎と再び夫婦に

明治維新の先駆けとなった庄内町清川出身の志士・清河八郎(1830-63年)を祭る庄内町清川の清河神社(正木尚文宮司)の境内に30日、八郎の妻・お蓮の生家にあつた梅の苗木が移植され、祝言を挙げなかつた2人の「160年越しの嫁入り」と関係者が祝った。

お蓮(本名・高代)は1839(天保10)年、現在の鶴岡市熊出の医師・菅原正庵の四女として生まれ、養女に出された後遊郭に売られた。そこで八郎と出会った。周囲の反対を押し切つて結婚。お蓮の名は八郎が8039(天保10)年、現在付けた。幕末期、八郎が倒れて嫁入りし、再び夫婦になった。正庵の四女として生まれ、養女に出された後遊郭に売られた。そこで八郎と出会った。周囲の反対を押し切つて結婚。お蓮の名は八郎が8039(天保10)年、現在付けた。幕末期、八郎が倒れて嫁入りし、再び夫婦になった。

お蓮(本名・高代)は1839(天保10)年、現在の鶴岡市熊出の医師・菅原正庵の四女として生まれ、養女に出された後遊郭に売られた。そこで八郎と出会った。周囲の反対を押し切つて結婚。お蓮の名は八郎が8039(天保10)年、現在付けた。幕末期、八郎が倒れて嫁入りし、再び夫婦になった。

動くNPO法人「元氣・まちネット」(東京都)の矢口正武代表。矢口代表は2年前、お蓮の生家の梅の木が残っていると聞き訪問。現在そこで暮らす菅原善一さん(80)から樹齢300年余りの梅の木の実生木2本を譲り受け、境内に移植する運びとなった。

この日は清河神社の例大祭。八郎の祥月命日であり、お蓮の月命日でもある。神事に続いて代表者によって移植が行われ、参列者約50人が夫婦の再会を祝った。

とを願う。境内を訪れた人に見てもらえれば」とそれを話していた。